

第4回北海道神経難病リハビリテーション研究会講演会 参加者集計

職 種	人 数	備 考
医師	2	
保健師・看護師	4	
薬剤師	0	
理学療法士	25	
作業療法士	12	
言語療法士	10	
ケアマネ	1	
介護福祉士	1	
その他	6	(事務・MR)
合計	61	

参加者施設	人数	参加者施設	人数
JCHO 登別病院	3	訪問看護ステーション きずな	1
いしまる神経内科	1	平取保健所	1
プライムヘルシータウン湘南	1	日鋼記念病院	1
山手地域包括支援センター	1	北海道医療大学	1
青葉病院	5	札幌山の上病院	5
浦河保健所	1	札幌宮の沢脳神経外科病院	2
介護老人保健施設 憩	1	札幌共立医院	1
光洋いきいきクリニック	1	札幌西円山病院	1
上田病院	1	西岡病院	2
新ひだか地域訪問看護ステーション	1	北海道医療センター	2
大河原脳神経外科病院	2	エフピー株式会社	3
苫小牧市立病院	3	北祐会神経内科病院	19
苫小牧保健所	1		

講演会参加者	60名
ケースカンファレンス参加者	52名

第4回北海道神経難病リハビリテーション研究会 講演会 アンケート集計

回収数：51枚（参加者数61名） 回収率：83.6%

アンケート回答者の職種

医師	1名	介護福祉士	1名	理学療法士	23名
保健師	2名	その他	2名	作業療法士	11名
看護師	1名			言語聴覚士	10名

アンケート回答者の経験年数

1～5年目	18名	6～10年目	13名	11～20年目	11名
21～30年目	6名	31年以上	2名	未記入	1名

アンケート回答者の所属地区

札幌市	29名	苫小牧市	8名	登別市	5名	室蘭市	5名
伊達市	1名	浦河町	1名	新ひだか町	1名	平取町	1名

講演会を知ったきっかけ

講演会ポスター	14名（11）	ホームページ	6名（0）
メール	3名（2）	知人	7名（4）
その他	19名（5）	未記入	2名

（ ）は胆振方面参加者の回答

医療講演について

大変参考になった	36名
参考になった	15名
あまり参考にならなかった	0名
どちらでもない	0名



- ・ 薬が効く機序が非常に分かりやすかったです
- ・ 病態も含めて理解できた。薬調整はやはり難しい事が分かった
- ・ wearing off で悩まれている患者様を診ているので薬物に関する知識をもっとつけようと思いました。

- ・ 薬効の違いなど分かりやすかったです。来週からの臨床で薬と症状に関してチェックしようと思いました。
- ・ 自律神経症状など非運動症状を学びました実践で取り入れていきたいと思います。
- ・ 今まで見えていなかった点が多くあり、勉強になりました。
- ・ 運動療法において考えることが多いため、薬物にあまり目を向けた事がなかったため参考になりました。
- ・ 自律神経症状についてとても勉強になりました
- ・ 1年目で経験が浅く大変勉強になりました。
- ・ 日常生活で見るべき最低限の便秘などについて知る事が出来た。
- ・ 実臨床における症状の鑑別など(本態性振戦、薬剤性パーキンソニズム等)がどのようにされているのか勉強になりました。センナ製剤を取り扱っていますので、メラノーシスには注意喚起をしていきます。
- ・ 薬剤の違いや運動療法の必要性など分かりやすかったです
- ・ 日内変動、on-off についての仕組みを再確認できてよかったです。

第5回北海道神経難病ケースカンファレンスについて

大変参考になった	23名
参考になった	16名
あまり参考にならなかった	0
どちらでもない	0
未記入	12名



- ・ 多職種での話し合いは久々
- ・ 札幌市外で働いているセラピストの話が聞けて良かった
- ・ ケースカンファレンスと言うよりも添書についてのグループワークでした。ケースについては全く触れなかったものでそれはどうなのかなと思いました。
- ・ 職種が違い、いろいろな視点や思いを込めて添書などが書かれており、伝える工夫をお互いにすることが大切で必要があれば電話で確認する事もとても良い事だと思う。

- ・ PCを使ったスタイルはとて面白いと思いました。
- ・ 在宅のリハビリと入院中では身体機能も環境にも差があるという事を改めて実感できた
- ・ 連携の在り方を見直すきっかけとなりました。ありがとうございました。
- ・ 他の施設の方々がどのような内容の添書だと助かるのかを聞いて参考になりました。
- ・ 地域柄で連携の方法が違うという事が分かった。また、職種の仕事内容も異なるためその把握も必要だと感じた。
- ・ 普段なかなか話す事が少ない職種の方と話す事が出来勉強になりました。
- ・ 他職種、領域の方々でお話が出来貴重な経験となりました。テーマが細かく決まっており、話しやすかった。
- ・ 普段意識していなかったことを聞いて勉強になりました。臨床に活かせる内容だったと思います。
- ・ 上手く連携するためには顔の見える関係づくりや工夫が必要だと感じた

講演会の開催を札幌以外でも必要と考えるか？

あった方がいい	37名(18)
どちらでも	13名(4)
なくてもいい	1名

()は胆振方面参加者の回答

- ・ 最後の痛みの講義が良かったです
- ・ 今後も続けて欲しいです
- ・ 初めて参加させて頂きました。大変有意義な研究会でした。ありがとうございました。
- ・ 講演会もう15分くらいあれば全部聞けたと思います。残念です。お疲れ様でした。
- ・ 訪問看護師の参加がもっとあった方が良い
- ・ 是非色々な地域で勉強会があると各地域の特色が知れていいと思います。
- ・ 名刺交換の場、時間があれば…
- ・ 第3回講演会のパーキンソン病の高次脳機能障害の講演を聞く事が出来なかったためもう一度講演して欲しいです